

16. 樹脂製建具	外部に面する建具性能等級等 (16.3.2)(表16.3.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>接の見込み寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="3">A-4</td> <td>W-4</td> <td rowspan="3">※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>W-5</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>W-5</td> </tr> </table> ※適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ (表16.3.2) 適用する場合は適用等級の等級、T-A種 ※適用しない 適用する場合は適用等級の等級、T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ (表16.3.3) 適用する場合は適用等級の等級、H-A種 ※適用しない 適用する場合は適用等級の等級、H-B種 表面色 (16.3.4) ・標準色(白) ・特注色(・黒 ・ブラウン ・シルバー)	種別	耐風圧性	気密性	水密性	接の見込み寸法(mm)	・A種	S-4	A-4	W-4	※建具表による	・B種	S-5	W-5	・C種	S-6	W-5	16. 重量シャッター	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>シャッターケース</th> <th>耐風圧強度</th> <th>開閉方式</th> <th>保護装置</th> </tr> <tr> <td>・一般シャッター</td> <td>※ 設ける</td> <td rowspan="2">建具表及び図示による</td> <td>※ 上部電動式(手動併用)</td> <td>障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・防火シャッター</td> <td>※ 設ける</td> <td>※ 上部電動式(手動併用)</td> <td>障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・防煙シャッター</td> <td>※ 設ける</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> スラット及びシャッターケース用銅板 (16.11.3) ※溶融亜鉛めっき銅板(JIS G 3302) ・塗装溶融亜鉛めっき銅板(JIS G 3312)	種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置	・一般シャッター	※ 設ける	建具表及び図示による	※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける	・防火シャッター	※ 設ける	※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける	・防煙シャッター	※ 設ける				17. カーテンウォールの性能等 (17.1.2~3)(17.2.2~3)(17.3.2~3)	17. カーテンウォールの性能等	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>耐風圧性</th> <th>耐震性</th> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>耐火性</th> <th>断熱性</th> <th>遮音性</th> <th>遮光性</th> <th>材質等性能の確認方法</th> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適切な資料により、監督員の承諾を受ける</td> </tr> <tr> <td>断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱遮光材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造ガスカート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱遮光材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造ガスカート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種	耐風圧性	耐震性	水密性	気密性	耐火性	断熱性	遮音性	遮光性	材質等性能の確認方法	ガラス									適切な資料により、監督員の承諾を受ける	断熱材										断熱遮光材										構造ガスカート										ガラス										断熱材										断熱遮光材										構造ガスカート									
		種別	耐風圧性	気密性	水密性	接の見込み寸法(mm)																																																																																																																													
・A種	S-4	A-4	W-4	※建具表による																																																																																																																															
・B種	S-5		W-5																																																																																																																																
・C種	S-6		W-5																																																																																																																																
種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置																																																																																																																															
・一般シャッター	※ 設ける	建具表及び図示による	※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける																																																																																																																															
・防火シャッター	※ 設ける		※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける																																																																																																																															
・防煙シャッター	※ 設ける																																																																																																																																		
材種	耐風圧性	耐震性	水密性	気密性	耐火性	断熱性	遮音性	遮光性	材質等性能の確認方法																																																																																																																										
ガラス									適切な資料により、監督員の承諾を受ける																																																																																																																										
断熱材																																																																																																																																			
断熱遮光材																																																																																																																																			
構造ガスカート																																																																																																																																			
ガラス																																																																																																																																			
断熱材																																																																																																																																			
断熱遮光材																																																																																																																																			
構造ガスカート																																																																																																																																			
5. 鋼製建具	簡易気密型ドアセット (16.4.2)(16.4.4)(表16.4.1)(表16.4.2) ※使用する(適用箇所は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6 銅板 (16.4.3-4) ※溶融亜鉛めっき銅板(JIS G 3302) ・溶融亜鉛5%アルミニウム合金めっき銅板(JIS G 3317) 建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する銅板の厚さ <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>使用箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>窓</td> <td>枠</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>枠</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>中</td> <td>2.3</td> </tr> </table> 標準型鋼製建具 ※使用する ・使用しない (16.4.6)	区分	使用箇所	厚さ(mm)	窓	枠	2.3	出入口	枠	2.3	上記以外	中	2.3	12. 軽量シャッター	<table border="1"> <tr> <th>開閉方式</th> <th>シャッターケース</th> <th>耐風圧強度</th> <th>スラットの形状</th> <th>保護装置</th> </tr> <tr> <td>・手動式</td> <td>※ 設ける</td> <td rowspan="2">建具表及び図示による</td> <td>※ インターロック型</td> <td>障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける</td> </tr> <tr> <td>・上部電動式(手動併用)</td> <td>※ 設ける</td> <td>※ オーバーラッピング型</td> <td>※ 設ける</td> </tr> </table> スラットの材質 (16.12.3) ※塗装溶融亜鉛めっき銅板(JIS G 3312) ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板(JIS G 3322)	開閉方式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置	・手動式	※ 設ける	建具表及び図示による	※ インターロック型	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける	・上部電動式(手動併用)	※ 設ける	※ オーバーラッピング型	※ 設ける	18. 1. 一般事項	18.1.1 屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。 18.1.2 各部の素地ごしらえ (18.2.2~7) 木部 ※A種(不透明塗料) ※B種(透明塗料) 鉄鋼面 ※A種 ※B種 ※C種 亜鉛めっき鋼面 ※A種 ※B種 ※C種 モルタル・プラスター面 ※A種 ※B種 ※C種 コンクリート・ALC面 ※A種 ※B種 ボード面 ※A種(継目処理工法) ※B種(その他)	19. 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能	帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は濡い抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ オーム未満 ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は濡い抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ⁷ オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り試験、層間剝離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキヤスター試験等の試験後異常がないこと。 (19.2.2)																																																																																																		
区分	使用箇所	厚さ(mm)																																																																																																																																	
窓	枠	2.3																																																																																																																																	
出入口	枠	2.3																																																																																																																																	
上記以外	中	2.3																																																																																																																																	
開閉方式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置																																																																																																																															
・手動式	※ 設ける	建具表及び図示による	※ インターロック型	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける																																																																																																																															
・上部電動式(手動併用)	※ 設ける		※ オーバーラッピング型	※ 設ける																																																																																																																															
6. 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット (16.5.2~4)(表16.5.1) ※使用する(適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・使用しない 戸の銅板 ※表面処理亜鉛めっき銅板 ・ビニル被覆銅板 ・カラー銅板 標準型鋼製軽量建具 ※使用する ・使用しない (16.5.6) 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製 ・アルミ製	13. オーバーヘッドドア	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>耐風圧性能</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>※スチール</td> <td>※パララシ式</td> <td>※スタン</td> <td>5.0</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウム</td> <td>・電動式</td> <td>・タード形</td> <td>7.5</td> <td>・ステンレス</td> </tr> <tr> <td>・タイブ</td> <td></td> <td>・ロー</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ファイバー</td> <td></td> <td>・ヘッド</td> <td>1.25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・グラスタイプ</td> <td></td> <td>・ハイ</td> <td>(JIS A4715)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・リフト形</td> <td>による強さ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・パーチカル</td> <td>の区分</td> <td></td> </tr> </table> 保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない	材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール	※スチール	※パララシ式	※スタン	5.0	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウム	・電動式	・タード形	7.5	・ステンレス	・タイブ		・ロー	1.00		・ファイバー		・ヘッド	1.25		・グラスタイプ		・ハイ	(JIS A4715)				・リフト形	による強さ				・パーチカル	の区分		18. 2. 素地ごしらえ	18.2.1 塗料の種類 (18.3.2) 亜鉛めっき鋼面 ※A種 ※B種(標準仕様書第8節の場合) 鉄鋼面 ※A種 ※B種 ※C種(標準仕様書第8節の場合) 亜鉛めっき鋼面 ※A種 ※B種 ※C種(標準仕様書第8節の場合) 18.3.3 錆止め塗料塗り 鉄鋼面 ※A種(見え隠れ) ※B種(見え隠れ) 亜鉛めっき鋼面 ※A種(鋼製建具等) ※B種(鋼製その他)	5. 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット (16.5.2~4)(表16.5.1) ※使用する(適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6 表面処理 ※ HL 銅板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ	14. ガラス	※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収ガラス 性能 ・ 1類 ・ 2類 ・ 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 性能 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 (・ U3-1 ・ U3-2) ・ 4種 ・ 5種 熱線反射ガラス 日射遮蔽性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性 ・ A類 ・ B類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ シルバー ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	18. 3. 錆止め塗料塗り	18.3.1 塗料の種類 (18.4.2) 合成樹脂調整ペイント塗り (SOP) 鉄鋼面 ※A種 ※B種(屋外) 木部 ※B種(屋内)	7. ステンレス製建具	簡易気密型ドアセット (16.6.2~5) ※使用する(適用箇所は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 ・ S-6 表面処理 ※ HL 銅板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ	15. ガラスブロック(中空)	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット(可動アルミ製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、(表16.14.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。 合わせガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。 (16.14.5)	18. 4. 合成樹脂調整ペイント塗り	18.4.1 塗料の種類 (18.4.2) 合成樹脂調整ペイント塗り (SOP) 鉄鋼面 ※A種 ※B種(屋外) 木部 ※B種(屋内)	8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ぶすま 工法(・ 在来型 ・ チップ型)	19. 1. ビニル床シート	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>※ 発泡層のあるもの</td> <td>※ F S ※無地</td> <td>※ 2.0</td> <td>※帯電防止</td> <td>※熱溶接</td> </tr> <tr> <td>※ 発泡層のないもの</td> <td>※ H S ※マーブル</td> <td>※ 2.5</td> <td>※耐動荷重</td> <td>※突付け</td> </tr> <tr> <td>※ 発泡層のあるもの</td> <td>※ K S</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法	※ 発泡層のあるもの	※ F S ※無地	※ 2.0	※帯電防止	※熱溶接	※ 発泡層のないもの	※ H S ※マーブル	※ 2.5	※耐動荷重	※突付け	※ 発泡層のあるもの	※ K S				19. 2. 化粧ビニル床シート	JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明層を有した木目又は石目調のもの (19.2.2)(19.2.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>F S</td> <td>※ 木目調</td> <td>※ 2.0</td> <td>※帯電防止</td> <td>※熱溶接</td> </tr> <tr> <td>H S</td> <td>※ 石目調</td> <td>※ 2.5</td> <td>※耐動荷重</td> <td>※突付け</td> </tr> </table> 上記以外はすべてビニル床シートに同じ	種類	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法	F S	※ 木目調	※ 2.0	※帯電防止	※熱溶接	H S	※ 石目調	※ 2.5	※耐動荷重	※突付け	19. 3. ビニル床タイル	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> </tr> <tr> <td>※ コアレス</td> <td>※ K T</td> <td>※300×300</td> <td>※ 2.0</td> <td>※帯電防止</td> </tr> <tr> <td>※ ホモジニアス</td> <td>※ F T</td> <td>※300×300</td> <td>※ 2.0</td> <td>※帯電防止</td> </tr> <tr> <td>※ ビニル床タイル</td> <td></td> <td>※450×450</td> <td>※ 2.0</td> <td>※耐動荷重</td> </tr> </table>	種類	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	※ コアレス	※ K T	※300×300	※ 2.0	※帯電防止	※ ホモジニアス	※ F T	※300×300	※ 2.0	※帯電防止	※ ビニル床タイル		※450×450	※ 2.0	※耐動荷重	19. 4. 畳敷き	畳の種類 ・ A種 ・ B種 (19.6.2)(表19.6.1) ※ C種 ・ D種 ()									
材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール																																																																																																																															
※スチール	※パララシ式	※スタン	5.0	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																															
・アルミニウム	・電動式	・タード形	7.5	・ステンレス																																																																																																																															
・タイブ		・ロー	1.00																																																																																																																																
・ファイバー		・ヘッド	1.25																																																																																																																																
・グラスタイプ		・ハイ	(JIS A4715)																																																																																																																																
		・リフト形	による強さ																																																																																																																																
		・パーチカル	の区分																																																																																																																																
種類	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法																																																																																																																															
※ 発泡層のあるもの	※ F S ※無地	※ 2.0	※帯電防止	※熱溶接																																																																																																																															
※ 発泡層のないもの	※ H S ※マーブル	※ 2.5	※耐動荷重	※突付け																																																																																																																															
※ 発泡層のあるもの	※ K S																																																																																																																																		
種類	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法																																																																																																																															
F S	※ 木目調	※ 2.0	※帯電防止	※熱溶接																																																																																																																															
H S	※ 石目調	※ 2.5	※耐動荷重	※突付け																																																																																																																															
種類	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能																																																																																																																															
※ コアレス	※ K T	※300×300	※ 2.0	※帯電防止																																																																																																																															
※ ホモジニアス	※ F T	※300×300	※ 2.0	※帯電防止																																																																																																																															
※ ビニル床タイル		※450×450	※ 2.0	※耐動荷重																																																																																																																															
10. 自動ドア開閉装置	性能 ・ スライディングドア (16.9.2)(表16.9.1~2) ・ スイングドア センサーの種類 ・ 光線(反射)スイッチ (16.9.3)(表16.9.3) ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ※センサーの種類によらず補助センサー併用とする 凍結防止装置 全半開装置 ※ 設ける(半開幅=) ・ 設けない	17. カーテンウォールの種類	カーテンウォール種別 ・ メタルカーテンウォール ・ PCカーテンウォール	19. 5. 石こうボードその他ボード及び合板張り	種類又は記号 (19.7.2~3)(表19.7.1)(表19.7.5) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格番号</th> </tr> <tr> <td>はいじりカルシウム板(繊維強化セメント板)</td> <td></td> <td>8(不燃)</td> <td>JIS A5430</td> </tr> <tr> <td>0.8FK又は1.0FK</td> <td></td> <td>10(不燃)</td> <td>(タイフ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>12(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>12(不燃)</td> <td></td> </tr> </table> グラスウール(吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18種) 繊維強化セメント板 ※ 内部用 ※ 軒天用 普通 ※ 9(不燃) ※ 12(不燃) 立体 ※ 12(不燃) 模様 ※ 15(不燃) ※ 19(不燃)	種類	記号	厚さ(mm)	規格番号	はいじりカルシウム板(繊維強化セメント板)		8(不燃)	JIS A5430	0.8FK又は1.0FK		10(不燃)	(タイフ)			12(不燃)				6(不燃)				12(不燃)																																																																																																							
種類	記号	厚さ(mm)	規格番号																																																																																																																																
はいじりカルシウム板(繊維強化セメント板)		8(不燃)	JIS A5430																																																																																																																																
0.8FK又は1.0FK		10(不燃)	(タイフ)																																																																																																																																
		12(不燃)																																																																																																																																	
		6(不燃)																																																																																																																																	
		12(不燃)																																																																																																																																	
		宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 設計年月日 調査 設計 工事名称		全業 図面 No																																																																																																																															
		電話 022-211-326 (1 日) 設計 図面名称		Scale																																																																																																																															
		FAX 022-211-3190 宮城県土木部管轄課																																																																																																																																	

<p>19. 遮音シール材</p> <p>20. ユニフォーム</p> <p>21. 煙突ライニング材</p> <p>22. プラインド</p> <p>23. 断熱材</p>	<p>・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)</p> <p>(19.8.2)</p> <p>施工箇所 品質 防火種別</p> <p>・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他</p> <p>品質は参考商品名である。</p> <p>断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2) (19.9.3)</p> <p>種類 箇所 厚さ(mm) 備考</p> <p>・ ビーズ法ボリステレンフォーム保温材 ※ A種ビーズ法 2種b ※ 25 JIS表示認証製品</p> <p>※ 押出法ボリステレンフォーム保温材 (A種) ※ A種 2種b 下記以外 ※ 25 接地板部分及び屋根防水部分(スチン層あり)</p> <p>・ 硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種 . . . JIS A 9511のJIS表示認証製品</p> <p>・ フォーム保温材 ※ A種 . . . JIS A 9511のJIS表示認証製品</p> <p>・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種 1 . . . ※ 20 JIS A 9526 による難燃性・2級 ※ 3級</p> <p>※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材</p> <p>種類 箇所 厚さ(mm) 備考</p> <p>・ JISA発泡プラスチック保温材 ※ A種ビーズ法 2種b 下記以外 ※ 25 JIS表示認証製品</p> <p>※ A種押出法 2種b 接地板部分及び屋根防水部分(スチン層あり)</p> <p>・ グラスウール保温材 ※ 24K品 ※ 100 JIS表示認証製品</p> <p>※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)</p>	<p>9. 表示</p> <p>衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ φ30程度 市販品 (20.2.10)</p> <p>誘導標識 市販品</p> <p>室名札 アクリル板</p> <p>(20.2.11)</p> <p>10. 煙突ライニング材</p> <p>煙突用成形ライニング材 安全使用温度 400℃</p> <p>(20.2.12)</p> <p>形 ※ 機型ブラインド ※ 縦型ブラインド</p> <p>スラット ※ アルミニウム合金 ※ クロススラット</p> <p>開閉方式 ※ 平方式 ・コード式 ※ 2本操作コード方式</p> <p>スラットの成形(mm) ※ 2.5 ・ 8.0 ・ 1.0</p> <p>(20.2.13)</p> <p>11. ロールスクリーン</p> <p>操作方式 ・ スプリング式 ※ チェーン式 ・電動式</p> <p>スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ</p> <p>(20.2.14) (表20.2.1)</p> <p>12. カーテン</p> <p>名称・品質など ひだの種類 形式 ※ 引分け装置</p> <p>※ 箱ひだ、つまひだ ※ 片引き ※ 手引 ・ひも引</p> <p>※ 箱ひだ、つまひだ ※ 片引き ※ 手引 ・ひも引</p> <p>※ 箱ひだ、つまひだ ※ 片引き ※ 手引 ・ひも引</p> <p>(20.2.14)</p> <p>13. アルミニウム製カーテンボックス</p> <p>材質 ※ ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>形状 ※ D型又は角型 ・C型</p> <p>表面処理 ※ C-1種 ・C-2種 (表14.2.1)</p> <p>14. 点検口</p> <p>施工箇所 材 種 寸法 形式</p> <p>天井 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 目地タイプ</p> <p>床 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 目地タイプ</p> <p>※ 450×600 ※ 一般形貼用</p> <p>※ 600×600 ※ 一般形充填用</p> <p>17. くつふきマット</p> <p>材 種 愛わく</p> <p>※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ※ ステンレス製(SUS 304)</p> <p>・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金製</p> <p>・ステンレス製(SUS 304)</p> <p>18. ステンレス流し台</p> <p>※ B.L認定商品(システム ※ I型) トラップ付</p> <p>19. コンコ台</p> <p>※ B.L認定商品(システム ※ I型) バックガード(※有・無)</p> <p>20. つり戸棚</p> <p>※ B.L認定商品(システム ※ I型)</p> <p>21. 水切棚</p> <p>※ 1段 ・ 2段</p> <p>22. 旗竿受金物</p> <p>※ ステンレス製(SUS 304) 既製品 形り込みタイプ既製品</p> <p>形式 ※ テーパー式 ※ 同一断面式 H= m</p> <p>材種 ※ アルミニウム合金</p> <p>操作方式 ※ ハンドル式 ※ ロープ式</p> <p>24. 屋内掲示板</p> <p>※ 既製品 アルミニウム製 表面発泡シート張り</p> <p>屋外 ※ コンクリート製 ・磁器質タイル(※100角・150角)</p> <p>26. 視覚障害者用誘導ブロック</p> <p>材種 ※ アルミニウム合金製</p> <p>高さ ※ 天井まで ・1.8m程度</p> <p>27. かぎ箱</p> <p>市販品 フック数(本) ・ 30 ・ 40</p> <p>・ 60 ・ 100</p> <p>28. 消火器ボックス</p> <p>鋼製 既製品</p> <p>29. ピッチャーレール</p> <p>アルミ製 既製品：7付、フッ等の吊り金物(4付/m) 共</p> <p>30. 郵便受</p> <p>図示</p>	<p>21. グレーティング</p> <p>※ 鋼製 ・ ステンレス製 (21.2.2)</p> <p>22. 鋼鉄製マンホールふた</p> <p>簡易密閉式とし、表面には用途別の標準文字付とする。 (21.2.2)</p> <p>23. 緑石及び備満</p> <p>地業の材料 ・再生クラッシュラン (21.4.2)</p> <p>24. 再生材</p> <p>※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)</p> <p>25. 盛土材料</p> <p>路床の盛土材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)</p> <p>26. 遮断層及び凍上抑制層用材料</p> <p>遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.2) (22.2.3)</p> <p>凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石</p> <p>27. 路床安定処理</p> <p>路床安定処理添加材料 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.2)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種</p> <p>※ フライアッシュセメントB種</p> <p>・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号)</p> <p>28. 砂の粒度試験</p> <p>※ 行わない ・ 行う (22.2.3)</p> <p>29. 路床土の支持力比(CBR)試験</p> <p>※ 行わない ・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)</p> <p>30. 路床の締固め度の試験</p> <p>※ 行わない ※ 行う(箇所：埋戻し及び盛土部) (22.2.5)</p> <p>31. 路盤材料</p> <p>※ 再生クラッシュラン R C-4 0 (22.3.3) (表22.3.2)</p> <p>(透水性調整の場合を除く)</p> <p>・クラッシュラン C-4 0</p> <p>・クラッシュランラスタグ C S-4 0</p> <p>32. 路盤の締固め度の試験</p> <p>※ 行う (22.3.5)</p> <p>33. アスファルト舗装</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2) (22.4.4) (表22.4.5)</p> <p>表層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(1.3)</p> <p>・密粒度アスファルト混合物(1.3)</p> <p>・細粒度アスファルト混合物(1.3)</p> <p>舗装の厚さは図示による</p> <p>基層 ※ 再生粗粒度アスファルト混合物(2.0)</p> <p>・粗粒度アスファルト混合物(2.0)</p> <p>舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う (22.4.6)</p> <p>11. コンクリート舗装</p> <p>単層 ※ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)</p> <p>薄層 ※ あり ・なし</p> <p>コンクリート板の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない (22.5.6)</p> <p>12. カラー舗装</p> <p>種類 部位 厚さ(mm)</p> <p>加熱系 ※ アスファルト混合物 ・車道部 ・歩道部 図示による</p> <p>・石油樹脂系混合物 ・車道部 ・歩道部</p> <p>常温系 ※ 樹面系混合物 ・車道部 ・歩道部 5~10</p> <p>・シート工法 ・車道部 ・歩道部 3~5</p> <p>・塗布工法 ・車道部 ・歩道部 1程度以下</p> <p>着色骨材・自然石() (22.6.3)</p> <p>13. ブロック系舗装</p> <p>・コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 (22.9.2) (表22.9.1)</p> <p>・モルタル目地</p> <p>・インターロッキングブロック舗装</p> <p>・積石舗装 ・基層 ※ コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</p> <p>・A種 ※ B種 (22.10.2)</p> <p>15. 区画線</p> <p>※ JISK6665 3種1号</p> <p>23. 植栽地の確認等</p> <p>透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない (23.1.3)</p> <p>塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない</p> <p>※ 適用する ※ 適用しない (23.2.2) (表23.2.2)</p> <p>種類 樹種等 植栽基礎の適用</p> <p>・A種 樹木 ・適用する ※ 適用しない</p> <p>・B種 芝、地被類木 ※ 適用する ・適用しない</p> <p>・C種</p> <p>・D種</p> <p>24. 植込み用土</p> <p>※ 現場発生の良質土 ・寄土 (23.2.3)</p> <p>25. 土壌改良材</p> <p>※ 適用する ・適用しない (23.2.3)</p> <p>土壌改良材は、植栽を行う植込等面積1㎡当たり、パーク堆肥の場合は50リットル、発酵下水汚泥コンポストの場合は10リットルとする。</p> <p>種類 ※ こうらい芝類 ・野芝の類 (23.4.2)</p> <p>26. 屋上緑化</p> <p>工法 土壌厚さ 保水・排水層</p> <p>・屋上緑化システム</p> <p>・6cm ・適用する</p> <p>・12cm 材質(軽量骨材・板状成形品)</p> <p>・30cm ・適用しない</p> <p>・屋上緑化軽量システム ※ システム製作所の仕様による (23.5.2) (23.5.3)</p>	<p>24. 一般事項</p> <p>総撰発注有機化合物(TVOC)</p> <p>2. 測定対象化学物質</p> <p>3. 測定方法</p> <p>1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。</p> <p>2) トルエン換算で2.0μg/m³未満のピークは測定の対象としない。</p> <p>3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。</p> <p>表 測定対象化学物質及び室内濃度指標値</p> <p>化学物質名 100 μg/m³ 0.08 ppm</p> <p>①ホルムアルデヒド 100 μg/m³ 0.08 ppm</p> <p>②トルエン 260 μg/m³ 0.07 ppm</p> <p>③ベンゼン 570 μg/m³ 0.20 ppm</p> <p>④エチルベンゼン 3,800 μg/m³ 0.88 ppm</p> <p>⑤スチレン 220 μg/m³ 0.05 ppm</p> <p>⑥パラジクロロベンゼン 240 μg/m³ 0.04 ppm</p> <p>⑦テトラリン 330 μg/m³ 0.04 ppm</p> <p>⑧アセトアルデヒド 48 μg/m³ 0.03 ppm</p> <p>⑨リナロール (暫定) 41 μg/m³ 0.007 ppm</p> <p>⑩フタル酸ジ-n-ブチル 220 μg/m³ 0.02 ppm</p> <p>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル 120 μg/m³ 0.0076 ppm</p> <p>⑫フルオリン 1 μg/m³ 0.00007 ppm</p> <p>⑬ダイオキシン 0.29 μg/m³ 0.00002 ppm</p> <p>⑭アクリロニトリル 33 μg/m³ 0.0038 ppm</p> <p>⑮総撰発注有機化合物(TVOC) 400 μg/m³ (暫定目録値)</p> <p>4. 測定する室</p> <p>1) 1.4物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・室名:</p> <p>2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・室名:</p> <p>5. 測定結果報告書の提出</p> <p>次の事項を記載した報告書を2部提出する。</p> <p>1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚生省の測定方法」に定める計算式で20℃湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃湿度50%に修正した濃度を報告すること。)</p> <p>2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成後から試料採取までの日数)</p> <p>3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器</p> <p>4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し</p> <p>6. その他</p> <p>表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指標値を超える場合は、工事目的物の引渡を受ける前に、TVOCの測定の結果、暫定目録値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。</p>
<p>宮城県仙台市青葉区本町3丁目6番1号(班)</p> <p>電話 022-211-326</p> <p>FAX 022-211-3190</p> <p>宮城県土木部管轄課</p> <p>設計年月日 調査 設計 工事名称</p> <p>図面名称</p> <p>全業 図面No</p> <p>Scale</p>				